

ローマ字のつづり方に関する実態調査の内容（案）

国内外の日本語におけるローマ字のつづり方に関する実態を把握する。「ローマ字のつづり方」（昭和29年内閣告示第1号）の第1表、第2表の表記の使用状況、長音記号の有無と種類などを把握する。また、内閣告示にはないつづり方を収集し頻度を計数する。

I 国内におけるローマ字表記

1 自治体等におけるローマ字表記

例) 各都道府県庁所在地における施設案内、管内の住所表示等におけるルール

2 各交通機関におけるローマ字表記

例) JR 各社、私鉄各社（営業キロ数上位 20 社）、都営地下鉄、各市営地下鉄、各高速道路株式会社、各空港等におけるルール

3 各企業におけるローマ字表記

例) 日経 500 採用銘柄 500 社の海外向けウェブサイトにおける社名、代表者の姓名等（他言語でのつづりを除く。）

4 国内の研究者による学術研究におけるローマ字表記

例) 大学等研究機関とそれらに属する研究者が発表した学術論文のうち、外国語で執筆されたもの又は外国語のサマリーが付されたもの 200 本程度（分野のバランスに配慮して選定）に使用された日本人研究者の姓名等（他言語でのつづりを除く。）

5 国内の市街地における言語景観に見られるローマ字表記

例) 国内各都市の商業地域における看板、貼り紙、案内表示等

6 ローマ字による日本語を主表記とした刊行物、ウェブサイト等の現状

II 諸外国・国際社会における日本語のローマ字表記

1 諸外国の言語（30 か国程度を想定。）における日本語のローマ字表記

例) 各国で刊行された日本の観光ガイドブック売上げ上位 3 冊における日本の地名、商品名等

2 諸外国の言語（30 か国程度を想定。）に翻訳された日本の作品等のローマ字表記

例) 各言語に翻訳された小説、漫画、映画等における登場人物名、地名等

3 各スポーツにおける日本人選手登録名のローマ字表記（他言語でのつづりを除く。）

例) 海外リーグ・ツアー、国際大会での日本人選手の登録名、ユニフォームの表示等

※ I、IIのいずれについても、収集したローマ字表記のデータに対し次の3点の処理を行う。

① 元の日本語表記（漢字及び読み仮名）に対応するローマ字表記の種類（内閣告示第1表、第2表に基づくもの、表にないもの各種）とそれぞれの頻度を集計する。

② 特に長音、四つ仮名（ジ、ヂ、ズ、ヅ）の表記、撥音・促音表記の在り方を確認する。長音については、長音記号の有無と、ある場合に使われている記号を確認する。ない場合には代替方法の有無と、代替方法が使われている場合の内容を確認する。

③ 日本語の中で用いられることが一般化した外来語や外国人名が仮名表記に合わせてローマ字表記されている場合があれば、抽出する。

例) ドア/doa、ストレス/sutoresu、ナタリー/Natarî、ブラウン/Buraun